



TOKYO 2020

大会延期に伴う大会用データネットワーク 運用保守業務の契約変更

1. 審議事項

大会延期にともないNTTコミュニケーションズに委託している下記通信サービスの運用保守契約の契約変更を行うことについて審議、承認を頂きたい。

通信サービスの運用保守

サービス		運用保守	
		大会専用サービスの運用	回線サービスの 大規模障害時に備えた特別体制
大会用データ ネットワーク	各会場や本部におけるLANおよび会場間をつなぐWAN	・ 監視・駆けつけ保守/サービスリクエスト対応	・ WAN回線サービス(高速広帯域・ビジネスイーサ・フレッツ) の大規模障害時に備えた特別体制※商用サービスは個々に契約
	インターネットおよびネットワークセキュリティサービス	・ 監視・駆けつけ保守 ・ サービスリクエスト対応 ・ ネットワークセキュリティオペレーション	・ データセンタ間を接続する国際専用線、インターネット接続サービス、外線電話サービス等の大規模障害時に備えた特別体制
CATV			
固定電話			

対象

2.背景

- 組織委員会は、通信サービスをゴールドパートナーであるNTTグループから調達しており、そのうち、インターネット・ネットワークセキュリティ等の運用保守については、NTTコミュニケーションズに委託してきた。
- これらの委託は 2020年9月30日で終了するが、本委託は、大会時の運用だけでなく、大会前期間のセキュリティ対策および通信サービス提供に必須であるため、大会延期にともない、契約の延長を行う必要がある。

3.実施内容

■方針

既存契約の契約期間を1年間延伸し、2020年4月から9月のサービス提供期間を2021年4月から9月にスライドするとともに、延期期間の2020年4月から2021年3月については、必要最低限のサービスレベルで利用を継続するための、契約変更を行う。

■運用保守契約変更

大会延期にともないNTTコミュニケーションズと契約をしている下記運用保守契約の契約変更を行う

- (1) データネットワーク関連業務委託（運用業務委託）
2020年4月から2021年3月は最低限のサービスレベルとする。大会時の体制は1年スライドする。
- (2) データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス7）
各拠点に設置されるセキュリティ機器について、大会期間中の事業継続性の棄損への対策のため、2020年4月から2021年3月は、延長契約を行う。
- (3) データネットワーク関連業務委託（インターネット付加サービス4）
インターネット接続の監視を行うセキュリティ機器について、大会期間中の事業継続性の棄損への対策のため、サービスレベルを変えずに契約延長を行う。